

油谷小だより

油谷小 HP:

<http://member.hot-cha.tv/~yuyashogako/>

令和2年 9月号
NO.6 8月25日
長門市油谷新別名10666
TEL (0837)32-1102

長門市立油谷小学校 校長 長廻 修



一流に近づく



今年は、例年より短い夏休みでした。中には、残念と思っている子どもも多いと思います。しかし、学校に登校してくる子どもたちの顔を見ると、気持ちをきちんと切り替えられているようです。落ち着いた態度での2学期スタートとなり、安心しております。また、猛暑の真っ只中での学校生活再開です。学校では、新型コロナ対策と熱中症対策をとりながら安全・安心に細心の注意を払ってまいります。ご協力よろしくお願ひいたします。

さて、先日、実に興味深い話を伺いました。アメリカのある研究についてのお話です。その研究では、アスリートや芸術家、企業の社長など、様々な分野の一流の人々を集めてアンケートを取ったそうです。すると、次の3つの共通点があったそうです。

1. 小学校時代に優しい先生に出会っている。
2. 中学校時代に厳しい先生に出会っている。
3. 高校時代に一流の人に出会っている。

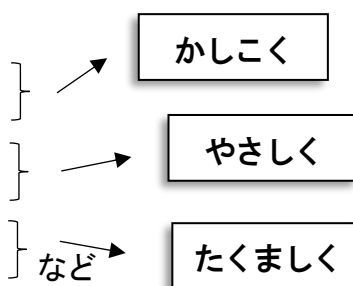
小学校時代はとにかくかわいがられた思い出があるということだと思われれます。また、中学校時代は、自立することや自分で責任を取ることをきちんと教えられたということのよう

です。そして、基礎が身に付いた上での、高校時代の出会いは大きい影響を及ぼします。一流の人と出会う環境にあった点が、羨ましい限りです。

ここで、着目したいのは、小学校時代の「優しい先生」という部分です。おそらく、みんなに優しいという意味ではなく、本人から見てかわいがられる状況だったということが予想されます。では、かわいがられるとは、どのような子どもだったのかを想像してみました。

一般的に、かわいがられる子どもとは、

- ・素直に何にでも興味をもった子
- ・ユニークな発想力に富んだ子
- ・人の気持ちを思いやれる子
- ・人なつこく、柔軟性がある子
- ・こつこつと地道に取り組める子
- ・前に進むバイタリティーのある子



多目的スペースの掲示板

これらをじっと見ていると、あることに気がきました。上の→のように、油谷小学校の教育目標の一節「かしこく、やさしく、たくましい子ども」であるということに気付いたので。ということは、この目標をめざして育てていくと、一流に近づくということです。これら全部を身に付けさせるというわけではございません。得意な部分を伸ばして認めていくということです。これには、地域の方々や保護者の方々の協力が欠かせません。学校でも家でも地域でも認められたら、ますますやる気は高まります。ぜひご協力お願ひいたします。

さらに、校舎一階の多目的スペースには、このような、「かしこさ」「やさしさ」「たくましさ」それぞれの手本になるような行為が見られたら、短冊にして写真と共に掲示し、残していきたいと思ひます。ご来校の際には、ぜひお立ち寄りください。